

第64番 前神寺

●愛媛県西条市洲之内甲1426
☎0897-56-6995
●宿坊/なし



第65番 三角寺

●愛媛県四国中央市金田町三角寺甲75
☎0896-56-3065
●宿坊/なし



沿線の見どころ



マイントピア別子

鉱山の町として栄えた新居浜市・別子地区の歴史を学び、体感できるテーマパーク。産業遺産が点在し、“東洋のマチュピチュ”と呼ばれ人気を集めている「東平(とうなる)ゾーン」や鉱山観光をはじめとする体験型施設やレストランなどを擁する「端出場ゾーン」があり、大人子どもとも一日中楽しめる。

所 愛媛県新居浜市立川町707-3
☎ 0897-43-1801
施設により異なる
休 無休(2月に1週間程度の休みあり)
入 入館無料、鉱山観光大人1,200円



沿線の見どころ



四国鉄道文化館

JR伊予西条駅のそばに佇む。館内では、初代0系新幹線の先頭車両や準鉄道記念物に指定されているDF50型ディーゼル機関車1号機など貴重な鉄道車両6両や、昔懐かしの鉄道グッズを展示。また、予讃線を走る列車や、駅の構内に残る大正時代に建てられた給水塔を望むことができる。

所 愛媛県西条市大町798-1
☎ 0897-47-3855(十河信二記念館)
施 9:00~18:00(入館は17:30まで)
休 水曜(祝日の場合は翌日)
入 あり(50台)



境内の見どころ



御滝不動尊

大師堂から本堂へと向かう参道の途中、石段の右側にあるのが、御滝不動尊だ。かつてはここで滝打修行が行われていたそうだが、現在の水量はごくわずか。たくさんの1円玉が張り付いているが、これは1円玉を投げ入れて、見事にくっつくと、ご利益があるといわれているため。多くの人が運試しを行っている。



小高い丘に位置する前神寺は、春になると桜の花が咲き乱れる

第64番

石鉄山 前神寺

いしづちさん こんじきいん まえがみじ

霊峰に抱かれて静かに佇む寺

歴史・全体像

奈良時代の初期に役行者小角が開基したと伝えられている。もとは常住(成就)にあり、石鉄大権現が祀られていたことから、桓武天皇(781~806)が病氣平癒を祈願。見事に成就したため、七堂伽藍を建立して金色院前神寺と称し、勅願所とした。弘法大師は2度も石鉄山に登山し、求聞持法を修した。文徳天皇をはじめ歴代天皇が帰依したことで知られる。中世には領主河野氏、江戸時代には西条藩主松平氏らが信仰。松平氏は東照宮を祀り、三葉葵の寺紋を許した。石鉄山の別当寺を務めたが、明治の神仏分離で寺は廃寺に。その後、明治11年(1878)に現在地に移され、再興された。

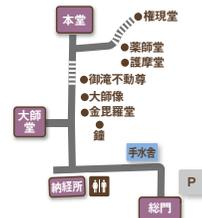
境内

境内には古い灯籠が何基もあり、老木とともに寺の歴史を物語る。参道には鬱蒼と杉木立が生い茂り、深山幽谷の趣。桜の時期には周辺がピンクに染まる。参道奥にある本堂は、昭和47年(1972)に再建された。入母屋造り、青い銅板屋根の美しい建物である。本尊は阿弥陀如来。大師堂は方形造りの建物。このほかに境内には蔵王大権現の社である権現堂、金毘羅堂、薬師堂、護摩堂などもあり、見ごたえたっぷりだ。

毎年7月1日~10日(1日のみ女人禁制)の「お山開き」には、白装束を身にまとった信者たちが集まる。石鉄山の山頂近くには奥の院・奥前神寺がある。



青い銅板屋根の本堂は昭和47年再建



御詠歌/前は神うしろは仏ごらくのよろづの罪をくだくしづち本尊/阿弥陀如来
真言/おん あみりた ていせい からうん
宗派/真言宗石鉄派
開基/役行者小角



日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第64番 前神寺 第65番 三角寺



